事例集

# 課題解決に支援事業を活用 職員同席で課題対応力が向上

## 青木信用金庫

### さいたま市内の取引先の課題には、まず成長支援事業を提案

青木信用金庫は、川口市、さいたま市を中心に、埼玉県、東京都に37の本支店を持つ金融機関です。当金庫では、取引先の経営課題に対し、主に外部支援機関と連携して支援を進めています。さいたま市内の取引先に対しては、「金融機関連携成長支援事業」を積極的に提案・活用し、課題解決支援を行っています。2015年の事業開始から徐々に件数を伸ばし、コロナ禍で一時的な減少もありましたが、2021年度までに77件の支援をしていただきました。

### 事業計画策定から実行支援まで経験し若手育成にもつながる

支援を通じて職員の成長を感じたのは、若手職員が担当した販促に課題のある寝具販売店の事例です。課題解決支援の経験が少ない職員が支援に同席し、5回の面談で顧客データ分析等を踏まえた販促計画を策定し、現在は面談回数延長で実行支援を進めています。取引先からは実効性の高い支援と感謝されており、若手職員も一連の支援の流れを体感できた事で、課題解決に対する苦手意識も解消されるなど、本業支援のOJTにもなりました。また、支援の結果、仕入資金の融資にも結び付き、職員のモチベーションアップにもつながっております。

**プロフィール：青木信用金庫**

【所在地】川口市中青木2丁目13番21号
【設立年月】1948年6月1日
【事業内容】融資、預金、為替、公共債・投資信託、保険の窓販など、地域の中小企業や個人の皆さまの生活向上に役立つ金融商品や金融サービスの提供。

☎048−251−5880
URL https://www.shinkin.co.jp/aoshin/

### 支援の底上げが今後の課題

支援事業の周知活動としては、毎期さいたま市内の店舗へコーディネーターの方々による勉強会を実施していただいています。勉強会を通じて、職員とコーディネーターの方々との顔の見える関係が作られ、本部から行っていた相談・支援依頼も、現在では営業店職員から相談・支援依頼するケースが多くなりました。支援の依頼できるようになった職員は川口市等さいたま市外の店舗に異動後も、さいたま市に事業所等を有する取引先があれば、支援事業の利用を提案するなど、取引先に対する支援が拡大してきています。ただ、支店や担当者で支援事業の活用に濃淡があるため、今後は、更なる利用促進・事業の定着を図ってまいります。

今後も当金庫は、地域企業が抱える経営課題の解決に尽力し、これまで以上に地域社会全体の成長に貢献していきます。

**地域振興部**

**さまざまな経営課題に職員、財団コーディネーター、専門家で連携して支援します**

取引先と金庫の真のリレーションシップを図り、課題解決に向けた支援を行うことで、取引先の企業価値を向上させ、取引先と金庫が共に成長していく姿を目指しています。

さいたま市産業創造財団の金融機関連携成長支援事業は、さまざまな経営上の課題について当庫職員、財団コーディネーター、専門家で連携して支援を行います。支援事業は、無料または費用の一部負担でご利用いただけますので、お気軽にご相談下さい。

▲青木信用金庫　地域振興部　経営サポートチーム